

決算報告

主にこんなことに使いました

土木費

- 市道・橋梁の維持補修、改良 10.3億円
- 河川や港湾、排水路などの維持管理や整備 2.3億円
- 街路整備や公園、下水道の管理整備 9.2億円
- 市営住宅の管理整備 1.8億円



消防費

- 消防施設の整備や消防団運営 23.2億円



商工費

- 観光宣伝事業や各種イベントの補助 18.0億円

教育費

- 教育振興全般、教育委員会の運営、ALT招致など 10.3億円
- 小・中学校や幼稚園、給食センター等の管理運営・施設整備 17.3億円



- 生涯学習の推進や文化振興、社会教育・文化施設の管理運営や施設整備 8.2億円

農林水産業費

- 園芸作物や果樹、畜産など農業振興 9.3億円
- 農地の基盤整備、農業施設の維持管理 4.5億円
- 林道整備や間伐促進事業など林業振興 3.3億円
- 水産基盤整備など水産振興 10.2億円

民生費

- 社会福祉、施設入所支援など障がい者福祉 48.2億円
- 介護保険、老人ホームなど高齢者福祉 41.0億円
- 保育所(園)や児童館の運営など児童福祉 61.0億円
- 生活保護、災害見舞金 15.6億円

総務費

- 総務・企画全般、市所有の財産管理、地域振興、まちづくり支援、スポーツ振興など 94.9億円
- 課税事務、地籍調査 3.6億円
- 戸籍・住民登録事務 1.4億円

衛生費

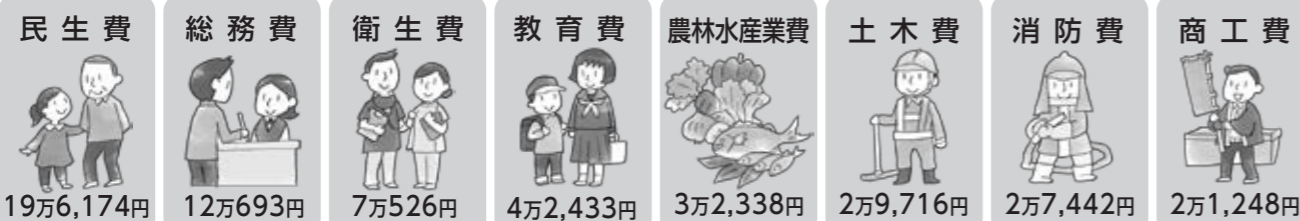
- 各種健康診査・予防事業 9.2億円
- ごみ・し尿処理、環境保全対策 30.4億円

歳出を市民1人あたりにすると

63万4,918円

(平成26年度は60万8,222円)

一般会計の歳出を市民1人あたりに換算すると、63万4,918円を使ったこととなります(H28年3月31日現在の人口84,584人で計算)。市税の収入は市民1人あたり8万7,565円ですから、不足する54万7,353円は地方交付税や国庫支出金、県支出金などで補っていることとなります。



平成27年度の決算(平成27年4月1日から同28年3月31日までの市の歳入(収入)と歳出(支出)の実績)が、平成28年第3回市議会定例会で認定されました。

皆さんに納めていただいた大切な税金や、国や県からの補助金がどのように使われたのかを知っていただくため、一般会計の決算の概要や財政状況などについてお知らせします(金額と数値は、表示単位未満を四捨五入しています)。

詳細は、本庁・財政課☎5053へお尋ねください。

歳出総額

対前年度
2.5%増

537.0億円

目的別にみると、各種福祉施策を行う民生費が165.9億円で30.9%を占め、次いで総務費102.1億円(19.0%)、公債費67.6億円(12.6%)となりました。

歳入総額

対前年度
4.8%増

569.4億円

財源別にみると、市税などの自主財源が132.1億円(23.2%)、地方交付税や国・県支出金などの依存財源が437.3億円(76.8%)となりました。

(単位:億円、カッコ内は%)

